

2022年11月18日

北朝鮮による ICBM 級弾道ミサイル発射を強く非難し、厳重に抗議する（コメント）

立憲民主党

外交・安全保障ネクスト大臣 玄葉光一郎

北朝鮮は本日、昨日の短距離弾道ミサイルに引き続き、午前 10 時 14 分ごろ朝鮮半島ピョンヤン近郊から ICBM 級弾道ミサイルを発射した。飛行距離約 1000km、最高高度約 6000km と推定され、約 69 分間飛翔して 11 時 23 分ごろ渡島大島の西方 210 キロの EEZ 内に落下した。これは我が国の平和と安全を脅かすものであり、断じて容認できない暴挙である。

今年に入ってから北朝鮮は異常な頻度で弾道ミサイルを含む多種・多数のミサイルを発射している。あらゆる弾道ミサイルの発射は国連決議違反であり、3 月にも日本の EEZ 内、10 月には日本の上空を通過するミサイルを含め、地域の緊張を高めるだけでなく、世界の平和と安定を脅かす国際社会への挑戦であり、厳重に抗議する。

政府には情報収集・分析、警戒監視に全力を挙げるとともに、北朝鮮の非核化にむけて、国際社会に制裁の実効性の担保、厳格化を働きかけるよう求める。引き続き日米韓の連携を緊密にしつつ、特に北朝鮮に影響力のある中国への働きかけを強めることを求める。